

参加無料

一般の方もご参加頂けます

「越境学習とワーケーション」

～その相乗効果のリアルな価値を考える



沢渡あまね

作家/ワークスタイル&組織開発



石山恒貴

法政大学大学院 政策創造研究科 教授



松下慶太

関西大学 社会学部 教授

■ 概要

・日時：2022/10/30(日)14:00～15:30

・開催：zoomによるオンライン開催

※参加URLは、別途ご案内いたします。

・受講料：無料

■ プログラム (予定)

14:00 1, 登壇者による講演

15:00 2, 対談～Q&A

※チャットでのコメント&質問・大歓迎!

15:30 終了

内容：

人材育成の領域で「越境学習」、また柔軟なワークスタイルの領域で「ワーケーション」が注目されています。不透明で急激な環境や市場の変化が進行し、VUCA、あるいはイノベーションやDXなどのトランスフォーメーションが重視される時代では、越境学習とワーケーションの相乗効果について考えてみる価値はありそうです。

越境学習とは普段の環境と普段と異なる環境を行き来することで価値観の揺らぎを起こすこと、ワーケーションとは時間と場所を個人が主体的に選択できる柔軟な働き方・生き方を意味します。では、両者の相乗効果とは何でしょうか。それは異体験と「揺らぎ」が相乗的に醸成されることにあるのではないのでしょうか。本イベントでは、越境学習とワーケーションを調査研究し、また多様な場面で実践している3名の講師が、その相乗効果のリアルな価値を多角的に語り、対談します。イベントは、浜松三ヶ日の沢渡あまね氏（『新時代を生き抜く越境思考』著者）のワーケーションオフィスから中継します。3名の異なる視点とリアルなワーケーション現場によって起こる、その場の「揺らぎ」にもご注目ください。

日本人材マネジメント協会 (Japan Society for Human Resource Management = JSHRM) は、「日本におけるHRMプロフェッショナルの確立」を使命に、我が国の人材マネジメントを担う方々のための会員(年会費制)組織として2000年に設立。日本を代表する人材マネジメントの専門団体として、人材マネジメントに係る方々のための能力向上と会員ネットワークを活かした情報交換・相互交流、更にグローバルな視点からの各種調査研究・提言・出版などの諸活動を展開しています。

JSHRMは世界90カ国、約60万人の会員で構成される世界連盟 (WFPM) の日本代表組織であり、全米人材マネジメント協会 (SHRM) から創設時に支援頂き、アジアパシフィック地域連盟 (APFHRM) の機関として情報交流に努めています

参加ご希望の方はJSHRMホームページよりお申し込み願います。※見学・お試しも歓迎！

JSHRM

検索